



2004年、元旦、午前6時55分、雄大な太平洋から、光輝く太陽が顔をのぞかせると、訪れた約2千人の方々のどこからともなく歓声が上がりました。昨年、一昨年と天候に恵まれず、3年ぶりとなる屋形海岸での“初日”に大勢のみなさんが、それぞれの思いを胸に今年一年の幸せを祈りました。

また、町観光協会による「紅白もち、甘酒、雑煮サービス」も、盛会に行われていました。

平成十六年の新春を祝う —新年交歓会—



▲横芝敬愛高校空手道部の演武

新春恒例の「横芝町新年交歓会」が1月9日、町文化会館で開催され、町内の要職にある方々や名士のみなさん176名が一同に集い、平成十六年の新春を祝いました。

あいさつに立った伊藤町長からは、「地方分権や少子高齢化が進むなか高度化する行政事務や多様化する住民ニーズに対応し自治能力の向上や行政基盤の強化を図つてまいります」と、力強く新年の抱負が述べられました。

また、今年は横芝敬愛高校の空手道部と少林寺拳法部の生徒による演武が披露され会場は、大いに盛り上りました。